

# 令和 7 年度 HIT ひろしま観光大使インフラ整備・活動促進業務 委託仕様書

## 1 業務名

令和7年度 HIT ひろしま観光大使インフラ整備・活動促進業務(以下「本業務」という。)

## 2 業務期間

契約締結日から令和 8 年 2 月 27 日まで

## 3 業務目的

本業務の目的は、以下の 3 点とする。

### (1) HIT ひろしま観光大使の活動内容の明確化と情報基盤の整備(ハード)

- ・ 大使の活動内容を整理・可視化し、活動のイメージや方向性を共有できる状態にすること

### (2) HIT ひろしま観光大使の活動環境の整備と発信行動の促進(ソフト)

- ・ 大使が活動しやすくなるよう、情報提供や、発信・交流の場の創出などを通じて、活動環境を整備すること
- ・ 大使が広島県の観光情報発信の担い手として機能する状態を目指し、SNS 等での主体的な発信を促すこと

### (3) 新規の HIT ひろしま観光大使の獲得

- ・ 会員数が累計100万人を達成する為のロードマップを描くこと
- ・ HIT ひろしま観光大使の新規登録者数を獲得すること

\*1 HIT ひろしま観光大使とは(詳細については「別紙1\_媒体概要資料」参照)

HIT ひろしま観光大使(以下「大使」)は、広島県観光連盟(HIT)が運営する、「広島が好き」であれば誰でも無料で登録できる会員制度である。2020年 10 月から運用を開始し、広島の魅力発信に協力していただける人を大使として任命している。(令和7年7月7日時点の大使数:30,148 人)

大使には、モニターツアーへの参加や SNS 等での発信、アンケート協力等を通じて、観光プロダクトの改善や広島の魅力発信に関わってもらっている。こうした活動を通じて、県内外に広島ファンを増やし、県内の更なる周遊やリピート来訪を促進し、観光プロモーションの“自走化”を図ることを目的としている。

さらに、本制度を通じて、観光の担い手として当事者意識を持ち、広島観光の発展に主体的に貢献してくれる人が増えていくことも期待している。

## 4 課題認識と課題要因

### (1)課題認識

- ・ 大使の活動をもっと活性化させたい
- ・ 大使の会員獲得に伸び悩んでいる

### (2)課題要因

- ・ 自分たち(観光大使たち)自身に求められている活動がわからない。
- ・ 自分以外の大使がどんな活動をしているのかわからない。(横のつながりが無い)

- 上記の活動を促進するような施策が行えていない。
- 大使に加入したくなる新しい入り口・きっかけが戦略的に企画されていない。

## 5 業務内容

上記「3 目的」および「4 課題認識と課題要因」を踏まえ、次に掲げる業務を委託する。

### (1) HIT ひろしま観光大使の活動内容の明確化と情報基盤の整備(ハード)

#### a. 大使公式サイトの改訂

現行の大使公式サイト (<https://dive-hiroshima.com/special/tourism-ambassador/>) 内の下記項目について、画像・文章の見直しおよび改訂作業を行うこと。  
改訂内容は HIT と協議のうえ決定し、最終的な校了は HIT が行うものとする。

- サイト全体のレイアウト、キービジュアル
- 観光大使の制度概要、特典内容
- 登録の流れ、Q & A、まとめ部分
- 大使活動ページ更新・運用(更新のマニュアル化含む)
- それ以外に必要なだと考えられること(自由提案)

#### \*3 大使公式サイトについて

大使公式サイトは、ひろしま公式観光サイト「Dive! Hiroshima」(以下、「Dive!」)内で公開することとし、Dive! CMS(コンテンツ管理)上に HTML データの流し込み、デザイン修正、ページ公開まで行うこと。(Dive! CMS 作業に必要なアカウントは別途 HIT から付与する。)

なお、Dive!流し込みに関する注意事項は、別紙2「Dive! Hiroshima 流し込みテンプレートに関するご案内」を確認すること。流し込みで作成したページの動作確認を実施すること。

\*4 本委託業務において制作・修正したコンテンツについて、スマートフォン及びPCの動作確認を行うこと。また、動作確認等に必要な機器については、受注者において準備し、テストが円滑に行えるよう環境を整備すること。具体的には、少なくともPCでは次に示す要件を満足すること。なお、スマートフォンについては、少なくとも、NTT ドコモ、au、SoftBank の3社から直近2年以内に発売された機種(iPhone を含む。)のうち複数台において動作確認を行うこと。

#### 利用者側パソコン利用環境

項 目	要 件
端末性能	一般的な性能を有する端末により、支障なく利用できること。
OS、Web ブラウザ	一般的に普及している OS (Windows、MacOS、Linux 等)、Web ブラウザ (Microsoft Edge、FireFox、Safari、Google Chrome 等) により、支障なく利用できること。
インターネット接続環境	利用者端末のインターネット接続が、いわゆるナローバンド環境の場合でも、支障なく利用できるよう配慮されていること。

### (2) HIT ひろしま観光大使の活動環境の整備と活動の促進(ソフト)

#### a. 活動促進施策

大使が自発的かつ継続的に活動しやすくなるような、ソフト面での支援策を企画・実施する

こと。本業務では、大使が「何をすればよいかが分からない」という状態を解消し、当事者として主体的に関与したくなる環境の構築を目指す。

b. 『HIT AWARD 2025』の企画・運営・事務局業務

HIT ひろしま観光大使による優れた発信や活動を称える企画「HIT AWARD 2025」(仮称)について、企画立案から運営・事務局対応までを一貫して担うこと。本アワードを通じて、大使の主体的な取り組みを可視化・賞賛することで、モチベーションの向上や大使制度全体の活性化につなげることを目的とする。

- アワードの趣旨・目的・選定基準等を整理し、実施概要を設計すること
- エントリー・審査・発表に関わる一連のプロセスを運用し、必要に応じて候補者との調整を行うこと
- 候補者の抽出方法や PR 方法、受賞者発表の手法等についても、HIT と協議のうえ柔軟に設計・実施すること
- アワードの結果や受賞者の取り組みが制度全体の認知・活性化につながるよう、広報計画を含めて検討・実行すること

(3) 新規大使獲得施策

100 万人の会員数を達成する為のロードマップを描いたうえで、2025 年の獲得すべきターゲット層およびターゲット層別の目標人数を設定すること。

企画の立案にあたっては、各ターゲット層が最も大使になりやすいタイミングを捉えた企画の立案および実施・運営を行うこと。(例えば、広島県民向けであれば、郷土愛が高まるスポーツの試合や県人会などの機会を活用し、登録促進を図る等)

<ターゲット層(案)>

- 観光客(KINSAI ユーザー)
- ひろくまファン
- 広島県民または広島県に縁やゆかりのある人

\*5 ひろくまの活用について(「ひろくま」については「別紙 3 ひろくま紹介資料」を参照のこと)

上記(1)～(3)の各施策において、「ひろくま」を活用することが可能である。以下の利用方法及び注意点に従うこと。

- イラスト利用
  - ひろくま公式サイト(<https://hirokuma.site/>)の「利用申請」>「①イラストを使用する場合」の手順に沿って申請すること。
  - スタイルガイド記載のイラストのみを利用する場合は無償使用が可能である。
  - 新たにデザインを作成する場合は、別途デザイン費用(約 15 万円/1 点)が発生することを見込むこと。
- イベント等への出演
  - ひろくま公式サイト(<https://hirokuma.site/>)の「利用申請」>「②出演を依頼する場合」の手順に沿って申請すること。出演にあたっては、実費負担(約 10 万円/1 日)を見込むこと。
- 費用の取り扱い
  - 新たにデザインを作成する場合のデザイン費用および出演に伴う実費は、いずれも本業務費に含めて積

算すること。

## 6 目標値(令和 8 年 2 月 27 日時点)

### 状態目標

- ・ 会員数が累計100万人を達成する為のロードマップが設定され、大使の歩むべき道のりが会員全体に浸透している状態。
- ・ 大使公式サイトが改訂され、大使の活動内容を整理・可視化し、かつ活動のイメージや方向性を共有できる状態になっている
- ・ 業務内容の要件を満たす形で、『HIT AWARD 2025』が実施されている

### (1) 数値目標

- ・ Instagram 等における今年度「#hit ひろしま観光大使」ハッシュタグ投稿数:7 万件以上(累計:25 万件以上)
- ・ HIT ひろしま観光大使の今年度新規登録者数:10,000 人以上(累計:40,000 人以上)
- ・ 大使登録者のうち KINSAI 新規登録者が 3,000 人以上。(累計:65,000人以上)

## 7 業務実施体制

- (1) 原則として、月 1 回以上は HIT との定例会議を設定すること
- (2) 必要に応じて、随時 Web 会議システム(Zoom、Teams 等)やチャットツール(Teams 等)、電話等を活用し、本業務を実施すること。
- (3) 本業務に係る人件費、調査、報告、交通費等の一切の経費は、委託金額に含まれるものとする。

## 8 報告書

業務完了後、以下の報告書を電子データで令和 8 年 3 月 10 日までに HIT へ提出すること。

- (1) 業務完了報告書(様式:契約書別記様式第 1 号)
- (2) 業務活動報告書(様式自由)※活動実績や HIT への提言等を取りまとめること

## 9 留意事項

- (1) 本業務により得られた成果(映像・画像の著作権含む)は、HIT に帰属する。あわせて、成果物(デザイン、構成、映像・画像、テキスト、ソースコード等すべてを含む)の著作権は HIT に譲渡されるものとし、HIT は本成果物をチラシ、SNS、印刷物、ウェブサイト等の他媒体で自由に利用・再編集・転載・複製・配布・公表できるものとする。また、納品後に HIT が当該成果物を任意に変更・改修・加工等することを妨げないものとする。
- (2) 受託者は、この委託業務に必要な人員を配置し、責任者を明らかにすること。
- (3) 本業務に関し、受託者はから受領又は閲覧した資料等は、HIT の了解無く公表又は使用してはならない。本業務で知り得た HIT 及び事業者等の業務上の秘密を保持しなければならず、本業務終了後も同様とする。
- (4) 本業務の再委託は原則認めない。ただし、再委託先ごとの業務内容、再委託先の概要及びその体制と責任者を明記の上、事前に書面にて報告し、承諾を得た場合はこの限りでない。

- (5) 本業務実施のための個人情報の取扱いについては、「広島県個人情報保護条例(平成16年12月17日広島県条例第53号)」を遵守し、適切に管理すること。
- (6) 本業務において使用する成果物等が、第三者の著作権その他の知的財産権を侵害してはならず、万一それによる紛争が生じた場合は、受託者の責任と負担において処理するものとする。
- (7) 本仕様書に定めのない事項および本仕様書に定める内容について疑義が生じたときは、HITと協議の上、定めることとする。